

## 2019年 新旧合同 第1回常任幹事会 議事録

日時：2019年3月15日（金）13:00～14:40

場所：大阪科学技術センター 7階 701号室

出席者（敬称略）：茶山（甲南大）、辻（阪市大）、久本（阪府大）、久保埜（大阪教育大）、吉田（京工繊大）、永井（産総研）、末吉（京大）、中原（和歌山大）、高原（リガク）、糟野（龍谷大）、北隅（京大）、塚越（同志社大）、松本（和歌山工技術）、森澤（近大）、山口（大阪薬大）、大城（阪大）、奥田（島津テク）、小菅（日立ハイテク）、東海林（阪市大）、鈴木（近大）、内藤（京大）、森田（大阪電気通信大）、中山（住電プリントサーキット）、青山（島津）、高山（日鉄住金）

### 0. 新旧常任幹事およびWG担当者の紹介

新旧常任幹事の出席者による自己紹介と各担当について説明があった。

### 1. 前回議事録について

2018年第4回常任幹事会の議事録（資料No. 1-1）を確認した。

### 2. 本部関連報告

資料No. 3に基づき、辻本部長より、第5回理事会ならびに第6回理事会の議事について、以下の内容が報告された。

- － 次期会長選挙結果について、内山一美氏が選出されたことが報告された。
- － 財務状況（第三四半期決算状況）について、概ね例年通りであることが報告された。
- － 討論会・年会開催担当案について、ICASの同時開催案は中止となり、2022年度に近畿にて年会を開催予定であることが報告された。
- － 次期副会長投票結果について、大塚副会長の後任として石濱氏の選出が報告された。
- － 2019年度役員候補者について報告された。
- － 各支部予算について、本部補助金金額が報告された。
- － 会員現況について、企業在籍の正会員の減少傾向が説明された。

### 3. 2018年度支部関係報告

#### (1) 2018年度近畿支部 事業報告

資料No. 4に基づき、中原庶務幹事より、2018年度に実施された事業が報告された。各種事業が例年通り実施されるとともに、近畿支部創設65周年記念事業が盛況に開催されたことが報告され、承認された。

#### (2) 2018年度近畿支部 会計決算報告

資料No. 5に基づき、高原会計幹事より、2018年度会計決算が報告され、承認された。経常収益の本部補助金が前年度に比べ大幅に減額されているが、前年度に実施された討論会

の収益による差額であることが説明された。また、経常費用として、会議費および印刷製本費が前年度に比べ増額しているが、平成夏季セミナーの中部支部との合同開催ならびに近畿支部創設 65 周年記念事業に関する費用であり、収益も増額したことから収支として問題ないことが報告された。

#### 4. 各種事業について

##### (1) 支部役員について

資料 No.6 に基づき、茶山支部長より 2019 年度支部役員について、次回幹事会において報告することと、新幹事候補の推薦について説明された。

##### (2) 常任幹事会・幹事会スケジュールについて

資料 No.7 に基づき、吉田庶務幹事より 2019 年度の事業計画案として、常任幹事会、幹事会の日程および現在確定しているぶんせき講習会とセミナーの日程が報告された。なお、例年であれば、第 3 回常任幹事会と同日開催の幹事会および支部講演会は、協力企業の会場にて開催するが、2019 年度は大阪科学技術センターにおいて開催することが説明された。

##### (3) ぶんせき講習会

資料 No.8 に基づき、久本委員長からぶんせき講習会の全体像について説明があった。実践編と発展編についても、既にぶんせき誌へ会告掲載の依頼済みとの報告があった。

###### 【基礎編その 1】

定員が多いことから、参加の呼びかけの依頼があった。

###### 【基礎編その 2】

使用機器数の兼ね合いにより定員が少なく、参加者が集まる見通しであると説明された。

###### 【実践編】

大塚電子の協力によりキャピラリー電気泳動 (CE) と動的光散乱 (DLS) の講習が予定されていることが説明された。CE の講師は理研の川井氏、DLS の講師については高分子学会と日程が重なり難航したが奈良女子大の吉村氏に決定したことが報告された。

###### 【発展編】

安川委員により誘電泳動に関する内容で実施することが説明された。会場の予約受付前のため、現時点において確定ではないが姫路市の「じばさんびる」にて開催されることが報告された。

また、2021 年度以降の内容について検討中であり、発展編については収益性が悪い上、担当委員の持ち出しが大きいと、取りやめることも含めて開催のあり方についての見直しの提案があった。久保埜元委員長より発展編の設立経緯の説明があり、良いテーマについて柔軟に開催できる形式の提案があった。辻前支部長からは、社会貢献の側面から、収益に執着する必要はなく、会員の関心の高そうなテーマについて支部から提案し開催して

はどうかとの意見があった。また、大城委員より、ジュニア向けの様に若い人を対象に、未来の会員の間口を拡げる内容としての開催について提案があった。これらの意見を集約して、ぶんせき講習会 WG にて議論することとなった。

#### (4) 支部講演会 WG

資料 No.9 に基づき、責任者の塚越委員より、4/12 に開催予定の第 1 回支部講演会についての説明があった。講演者は、河野宏彰先生(大阪産業技術研究所)、梅谷重夫先生(京大)である。また、第 2 回を 7/19 に、第 3 回を 12 月に、ともに大阪科学技術センターにて、開催する予定であるが、内容については未定であり、講演者として、若い方も含め推薦の依頼があった。

#### (5) 提案公募・セミナーWG

資料 No.10 に基づき、責任者の山口委員より、過去の開催実績について紹介があった。既にメール審議により、支部の HP より過去の開催実績一覧を閲覧できる様に検討し、また予算に関して事業案内の記述を改定することが説明された。HP における開催実績の更新は、年度末に 1 回のみとすることが審議され、了承された。

#### (6) ホームページ&分近ニュース WG

資料 No.11 に基づき、責任者の松本委員より、ぶんきんニュースを年 3 回発行する予定について報告された。また、広告掲載についての説明があった。

#### (7) 若手セミナーWG

資料 No.12 に基づき、責任者の森澤委員から、本年度ぶんせき秘帖 巻ノ拾参(8月1,2日,アイ・アイランド)で行われることが報告された。現状のプログラム案として、ポスターセッションを 1 日目の夜に開催する予定であることが説明された。茶山支部長からも多くの申込みがある様に、働きかけの依頼があった。

### 5. 2019 年度 支部予算案

資料 No.13 に基づき、高原会計幹事から 2019 年度の予算案について説明があり、異議なく承認された。なお、2019 年度より交通費については、12 月開催の幹事会の際に、一括して支給する方針であることが説明された。また、辻前支部長より、本部補助金の減額と、合同事務局への委託費の増額の見通しについて注意が必要であり、支部の資産の有効利用も考慮しながら、予算の使用について計画する必要があるとの意見があった。

### 6. 2019 年度 役員選考委員の選出

資料 No.14 に基づき、吉田庶務幹事より、役員選考委員の選出数(8名)および役目・任期について説明があり、2019 年度は新たに[理]1名、[農]1名、[業界]1名を選出することが

説明された。なお、[業界]については、JAIMA 賞との兼ね合いを考慮する必要についても説明があり、メールによる事前推薦の結果を参考に、下記の方々（敬称略）が選出され、全会一致で承認された。

[理] 千葉光一（関西学院大）、[次点：岩月聡史（甲南大理工）]

[農] 北隅優希（京大農）

[業界] 鈴江崇彦（紀本電子工業）、[次点：中田靖（堀場製作所）]

## 7. その他

### （1）2021 年度 第 70 分析化学年会開催地選考について

茶山支部長から、今後、開催地を選考していくことについて提案があり、神戸大、同志社大が候補として議論された。

### （2）「有功賞」候補者の推薦について

資料 No.15 に基づき、茶山支部長から、有功賞の推薦期限と被推薦者の条件について説明があった。現状では、支部長推薦者がいないことが報告された。

### （3）共催、協賛など

資料 No.16 に基づき、茶山支部長から協賛事業 3 件について説明があり、承認された。

### （4）その他

茶山支部長より人事公募があった場合に、支部役員や会員まで情報提供することが報告された。

以上